

令和 2 年度

施設関係者評価報告書



株式会社法人地方裁量型認定こども園ちびっこくらぶは、教育・保育目標や各種の子育て支援事業計画が、こども園運営規定に照らし合わせて自己点検・自己評価を実施し、『令和 2 年度施設関係者評価報告書』を作成しました。当園のホームページに公表します。

また、『施設関係者評価委員会』当園に関連する保護者・卒園生の方々・教育関係者の皆様より、園の教育・及び保育の内容や子育て支援等の方向性を含めた教育及び保育運営に対して、広くご意見・ご指導を承りました。頂きましたご意見につきましては、『令和 2 年度施設関係者評価報告書』に掲載させていただきます。

今後の教育・保育及び子育て支援事業の運営に生かさし、認定こども園ちびっこくらぶが保護者の方や地域の人々のお力をお借りしながら、

『子供の利益を最大限に』を目標達成出来るように、職員一同努力いたします。関係者の皆様には、貴重なお時間を頂きましたこと深く感謝申し上げます。今後とも更なるご支援・ご指導を頂きますよう心よりお願い申し上げます。

令和 3 年 6 月 20 日

地方裁量型認定こども園ちびっこくらぶ
園長 中脇 節子

参考：令和元年度施設関係者評価報告書・令和 2 年 5 月 30 日～掲載

令和2年度 自己評価・施設関係者評価シート

1. 認定こども園ちびっこくらの教育・保育目標

- 1.よく見る。
- 2.よく聞く。
- 3.よく考える。
- 4.よく話す。
- 5.よく体を動かす。

をモットーに、子どもは豊かに伸びようとする可能性を秘めています。その子どもが今を最も生き、そして生きようとする力を育てることが目標です。0歳から就学前までの期間に多種多様な社会・文化の中を生き抜くための基礎となる目に見えない大切な根っこの部分を大きく強く育てる手助けをします。

2. 本年度重点的に取り組むことが必要な目標や計画に対する評価

※ よく考える子を育てよう。

*何をしたいのか？どうしたいのか？…自分で行動しようとする手だてを保育者は、場面に応じて考慮する。

※ 友達との関わりを大切にすることを育てよう。

*遊びや社会のルールを理解して、その場での応じた言動が少しずつ身につくように、自分の気持ちだけでなく友達の良い気持ちも考えることの大切さを少しずつ理解する。

※ 先生や友達のと一緒に体を動かすこと・遊びを共有することの楽しさを知る。

*会話だけでなく、遊びや目的を共有することで、大きな達成感や喜びを感じることができる場面をたくさん経験できるように、保育者は手助けする。
(個々の考えた思いを自分で伝える。…周りの思いを理解して、共有する。)

※ 小学校との連携をとりながら、新しい環境への移行がスムーズになるよう関係する人々とのコミュニケーションづくりを計画し実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況と評価

評価項目	取り組み内容	取り組み状況	評価
保育・教育課程 (0~2 歳児)	<ul style="list-style-type: none"> * 乳児：ひとりひとりの発達段階に応じた遊びを工夫し、音・感触等のおもちゃを準備して他者との関わりを無理なく楽しむ。 * 保育者との関わりを通し、生理的欲求を十分に満たし、安心して過ごせるようにする。 * 援助されながら、基本的生活習慣の基礎が身につくようにする。 * 適切な環境の中で遊び・運動・言葉が無理なく習得できるように関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 興味のあるものを用いて、自分から進んで動き遊べるようにした。 * 触れ合い遊びをすることで、信頼関係が構築されたことにより、落ち着いて色々な遊びを楽しみつつ、動物などの泣き声や絵本等を通して片言の言葉を発している。 * 家庭環境を把握しながら、個々に応じた接し方や保護者への丁寧な受け答えを行うことで、子供の育ちを共有できた。 * 歩行の不安定な子供には、戸外遊びや運動遊びを取り入れ体幹アップの為に手作り遊具を作成。 	A
保育・教育課程 (3~5 歳児)	<ul style="list-style-type: none"> * 季節の野菜を育てて、給食の調理の食材として、切ったり皮をむいたりして、いただく。 * 幼稚園部のお兄さんやお姉さん達の育てている野菜を収穫する。 * 年間指導計画を基に期案・週案を策定する。 * 週・期ごとに振り返りを行い、次の保育へいかしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> * 野菜が苦手な子どもも野菜の成長の様子や収穫を経験することで完食できてきた。 * 収穫作業を皆で行い、その後は、自分たちで、落ち葉や枯木を集めて焼き芋の準備を数日間進める。 * 焼き芋大会を行った。子供の意見で3回も実施した。 * 異年齢クラスの為に3クラス分の作成が間に合わないこともあり、書類作成におわれてしまった。 * 参考書をみながら、悩みながら苦戦を強いられた。 	A
研修の取り組み	令和2年8月24日：調理部門	令和2年度学校給食衛生管理等研修会参加費：鹿児島県民交流センター ：調理師1名限定参加	B

<p>研修の取り組み</p>	<p>令和3年2月26日(金) 保育・教育部門 オンライン研修(発達の特徴のある子を支えていくために) 講師：種子島医療センター小児科 医師：岩本 二郎先生</p> <p>令和3年2月24日~3月15日 eラーニング研修(全職員)参加</p> <p>1・事故防止について</p> <p>2・感染予防について</p> <p>3・保護者とのかかわり方について</p> <p>4・子どもの遊びについて</p>	<p>*まず、発達の特徴を理解する。行動が問題を起こしてしまうことへの対処方法として・・・環境・認知行動・薬物療法の知る。</p> <p>*薬は困り感を少なくして、毎日を穏やかに楽しく過ごす為に、必要とされている。職員3名参加</p> <p>*施設内での事故防止について、注意すべき点・場所・時間帯等再確認する機会となり、見直しをしました。</p> <p>*日々の生活の中で、かかりやすい感染症について知り、それを持込まない為の対策・環境整備と同時に適切な勝利の方法や子ども自身で行う感染対策を学びました。毎日の保育の中で実践しています。</p> <p>*保護者とのコミュニケーションの手段と方法を学びました。</p> <p>*子供一人一人の体や精神的な成長が、遊びにも大きく影響していることを再確認しました。遊びの内容と機能の発達段階が適応出来る様に計画を作成しています。</p> <p>*自分たちで作ったおもちゃで遊ぶことが出来たらよいなと思いました。実際に作りました。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
----------------	--	---	--

施設関係者評価報告・・・

★保護者報告・*感染予防対策を徹底して、運動会・生活発表会が行われて良かった。

*コロナ禍のなかでも、子供たちの為に様々な行事を行って頂き感謝しています。保護者が様々な制限を掛けられることは、全く問題ありませんが、
通常通りの楽しい取り組みいっぱいのおびっこくらぶに戻ってほしいです。

★保護者会の代表者(役員)

*保護者会の奉仕作業が出来ずに・・・良い方法を考えて実施出来る様に工夫したい。

*行事の変更は早めをお願いしたい。(保護者参加の場合)

*コロナ禍での行事開催は、本当に大変、感染予防対策を取りながら、しっかり終えたことはとても良かった。

★中平小学校教頭先生より

*入学前の幼保小連携について、昨年度は2回の学校参観をしていただきました。少しでも小学校を知ってもらい慣れて入学して欲しいという思いがピタリと一致し嬉しく感じました。昨年同様学校参観は大歓迎です。双方職員間の話し合い等充実した幼保小連携に努めていきたいと考えています。学校のプールや体育館を使用した活動も可能です。他の2園も使用しています。卒園児の3名が貴園において伸びやかに育てていただいたことがよくわかります。個々の個性を尊重し、大切に伸ばしていく教育を中平小学校では心がけています。今後ご指導のほどよろしく申し上げます。